

連結決算補足説明資料

2024 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間

(2023 年 4 月 1 日～2023 年 12 月 31 日)

2024 年 1 月 31 日

(証券コード：9640)

株式会社セゾン情報システムズ

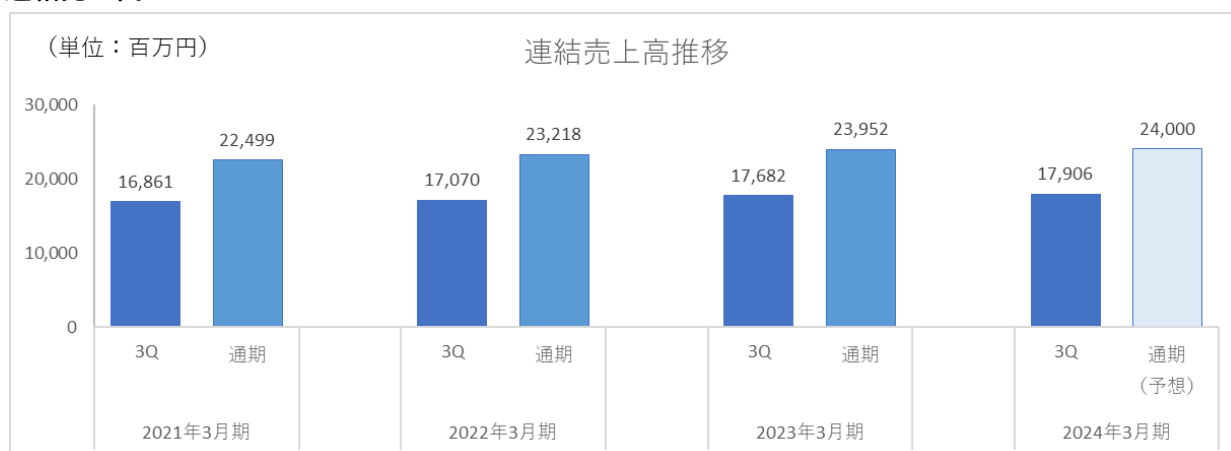
目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② データプラットフォーム事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益の推移

■連結売上高



<当第3四半期連結累計期間>

連結売上高は、HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により、17,906 百万円（前年同期比 1.3%増）となりました。通期予想（24,000 百万円）に対しては、進捗率 74.6%となりました。

<2023 年 3 月期（通期）>

- HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により売上が増加（前年同期比 733 百万円増）

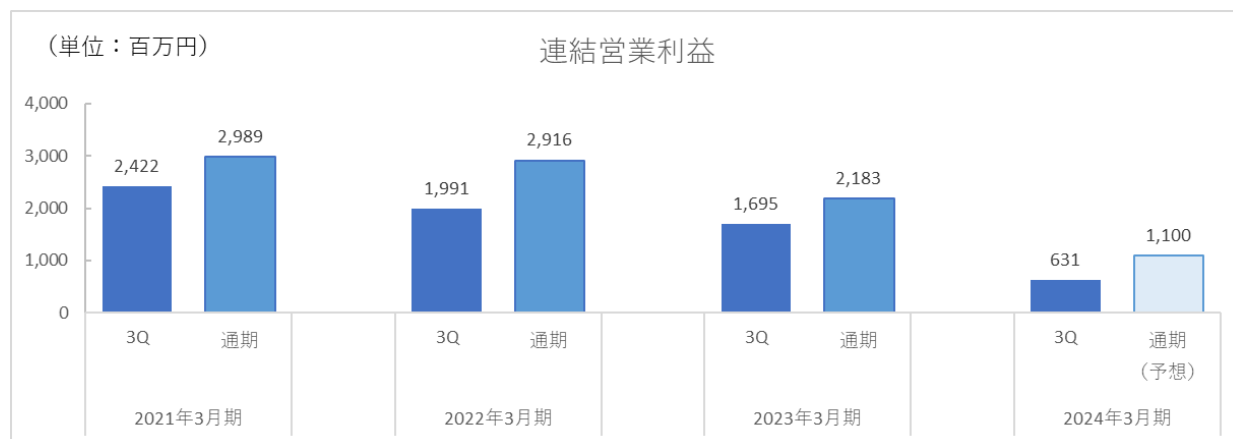
<2022 年 3 月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンケージ事業及び HULFT 事業の売上が増加（前年同期比 719 百万円増）

<2021 年 3 月期（通期）>

- 成長の柱に位置付けているリンケージサービスが進展。一方、流通 IT サービス事業及びフィナンシャル IT サービス事業の既存領域におけるシステム開発・運用案件は減少（前年同期比 1,061 百万円減）

■連結営業利益



<当第3四半期連結累計期間>

連結営業利益は、HULFT 事業が順調に増益となった一方で、流通 IT サービス事業において、受注損失引当金繰入額 1,272 百万円を売上原価に計上したこと等により、631 百万円（前年同期比 62.8% 減）となりました。通期予想（1,100 百万円）に対しては、進捗率 57.4%となりました。

<2023 年 3 月期（通期）>

- 「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への費用が増加（前年同期比 732 百万円減）

<2022 年 3 月期（通期）>

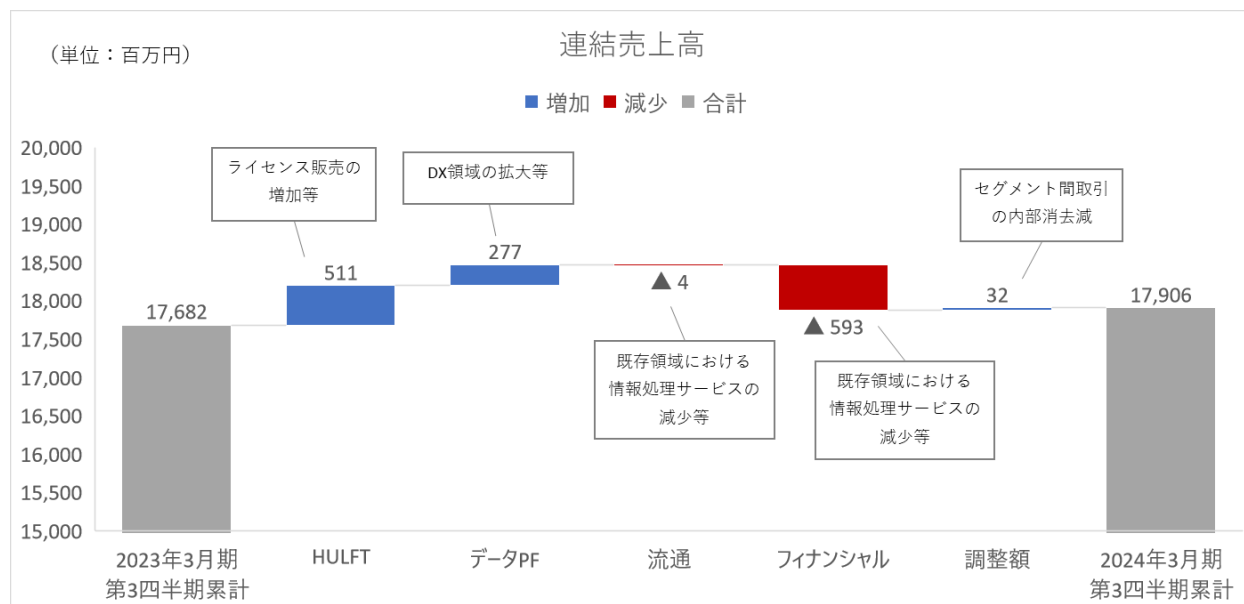
- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比 72 百万円減）

<2021 年 3 月期（通期）>

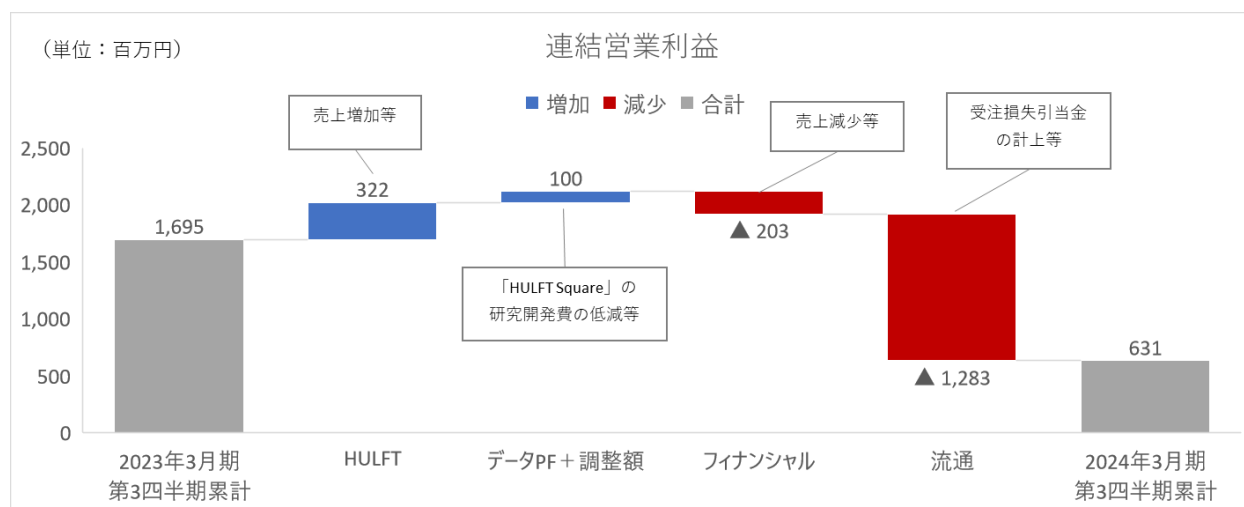
- リモートワークの拡大、イベント・商談のオンライン化等による生産性向上の取組みが奏功したものの、「HULFT Square」に関わる研究開発費が増加（前年同期比 460 百万円減）

2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

■連結売上高



■連結営業利益



※連結営業利益における調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない「HULFT Square」に係る研究開発費等であります。

※セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT：HULFT 事業

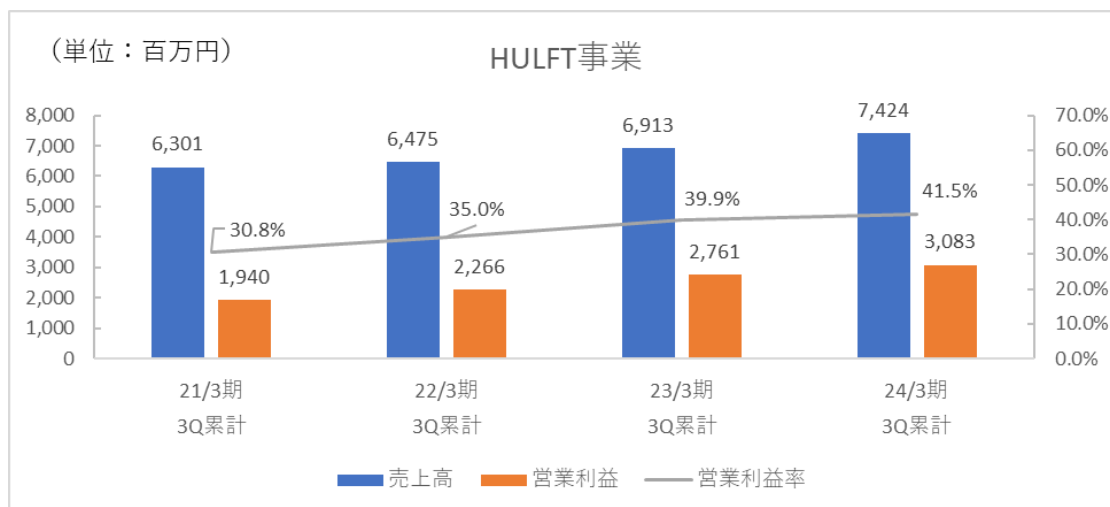
データ PF：データプラットフォーム事業

流通：流通 IT サービス事業

フィナンシャル：フィナンシャル IT サービス事業

3. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



<当第3四半期累計期間>

- ライセンス販売の増加及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 511 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 322 百万円増）

<2023 年 3 月期第 3 四半期累計期間>

- 堅調な DX 関連システム需要を受けて、主要プロダクトである「HULFT」「DataSpider」「HULFT DataCatalog」のライセンス販売、サブスクリプションサービス及びサポートサービス更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 438 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 494 百万円増）

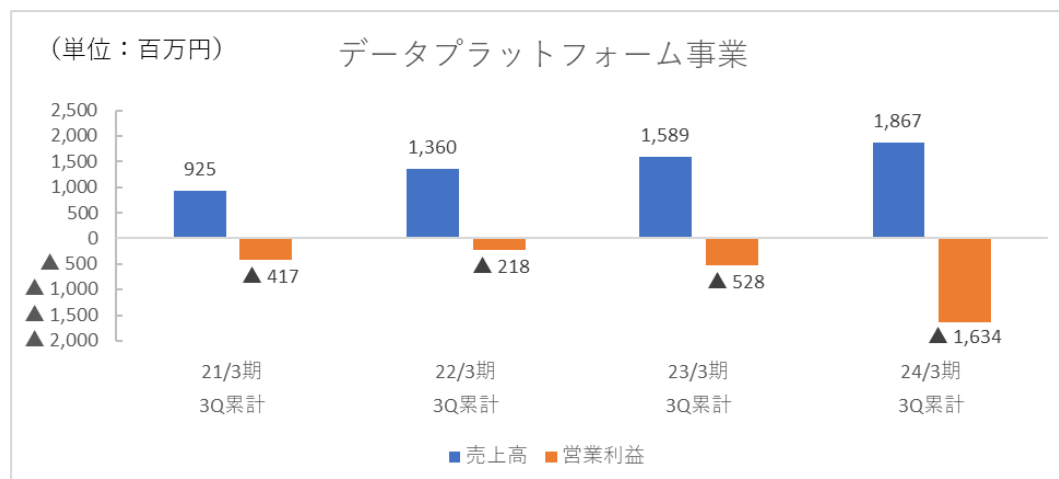
<2022 年 3 月期第 3 四半期累計期間>

- 「HULFT」「DataSpider」のサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 174 百万円増）
- お客様への提案モデルの具体化等、営業活動の改善による生産性向上に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 326 百万円増）

<2021 年 3 月期第 3 四半期累計期間>

- サーバ向け基本ソフトウェア等の終了に伴う一過性のリプレイス需要が一段落した影響を受けつつも、DataSpider 製品群が進展したことで減収の落ち込みを抑えたことにより売上高減少（前年同期比 81 百万円減）
- イベント・商談のオンライン化、営業活動品質・生産性向上等に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 187 百万円増）

② データプラットフォーム事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンケージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021 年 3 月期から「リンケージ事業」として分離独立しています。また、2023 年 3 月期から「リンケージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

<当第 3 四半期連結累計期間（データプラットフォーム事業）>

- DX 領域が拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 277 百万円増）
- サービスの立ち上げフェーズである「HULFT Square」の原価の計上等により 1,634 百万円の営業損失（前年同期は 528 百万円の営業損失）

<2023 年 3 月期第 3 四半期累計期間（データプラットフォーム事業）>

- モダンファイナンスサービス及びデータ連携基盤構築サービスの売上拡大等により売上高増加（前年同期比 229 百万円増）
- 今後の DX 案件需要増に対応する体制強化に伴う原価の増加等により 528 百万円の営業損失（前年同期は 218 百万円の営業損失）

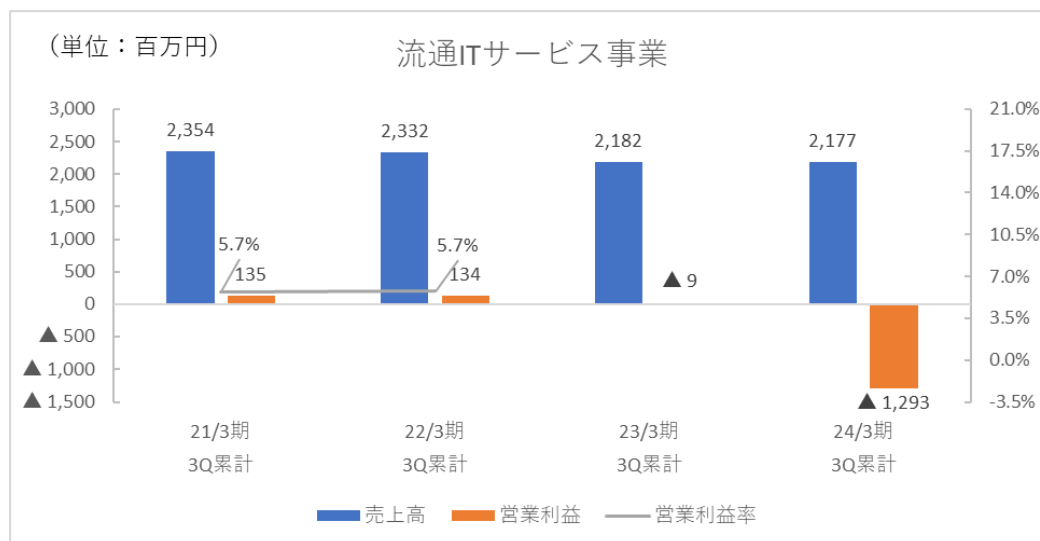
<2022 年 3 月期第 3 四半期累計期間（リンケージ事業）>

- モダンマネジメントサービス及びデータ連携基盤構築サービスの取引規模拡大、財務経理部門のデジタル化を支援するモダンファイナンスサービスで新規お客様獲得が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 435 百万円増）
- 上記サービスの拡大に伴う 1 人当たり売上高及び 1 人当たり売上総利益の改善による収益性向上に伴い、営業損失は 218 百万円（前年同期は 417 百万円の営業損失）まで改善

<2021 年 3 月期第 3 四半期累計期間（リンケージ事業）>

- 既存のお客様に対するモダンマネジメントサービスが増加により売上高増加（前年同期比 42 百万円増）
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加等に伴うコストが増加したことにより 417 百万円の営業損失（前年同期は 40 百万円の営業損失）

③ 流通 IT サービス事業



※2021年3月期から流通ITサービス事業はリンケージビジネスを分離独立しています。2020年3月期以降は、リンケージビジネスを分離させた調整後の数値です。

<当第3四半期連結累計期間>

- お客様のIT投資が回復してきているものの、既存領域における情報処理サービスの減少等により、売上高減少（前年同期比4百万円減）
- 開発を進めていた一部プロジェクトに高負荷が発生したことにより、この立て直しに必要な今後の開発コストとして、受注損失引当金繰入額1,272百万円を売上原価に計上したこと等により1,293百万円の営業損失（前年同期は9百万円の営業損失）

<2023年3月期第3四半期累計期間>

- 当社の強みが活きるDX領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比150百万円減）
- 売上高の減少に伴い9百万円の営業損失（前年同期は134百万円の営業利益）

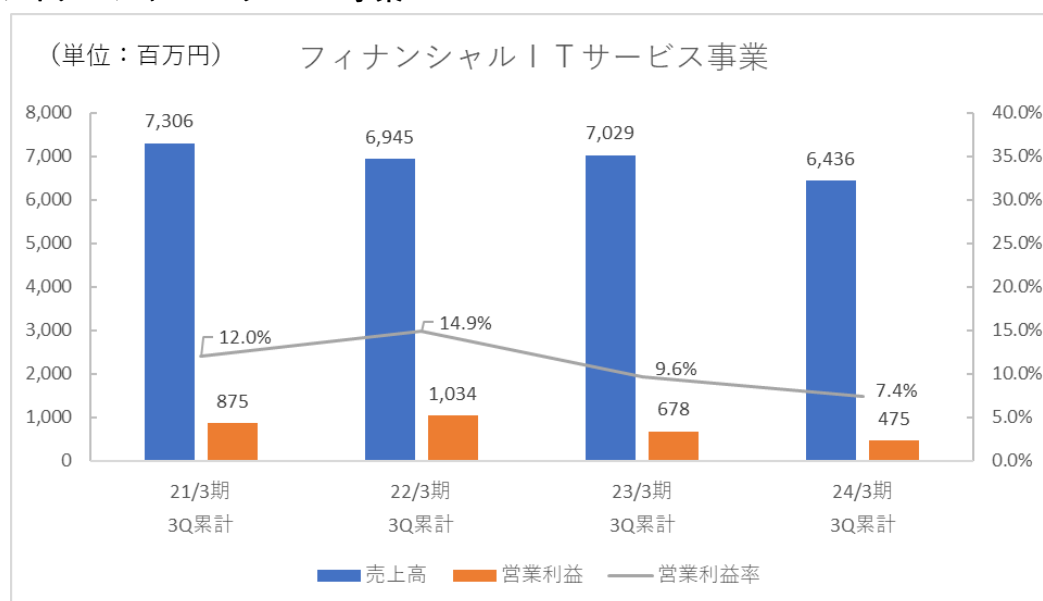
<2022年3月期第3四半期累計期間>

- 既存領域に係るシステム開発の減少等に伴い売上高減少（前年同期比22百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比1百万円減）

<2021年3月期第3四半期累計期間>

- お客様の業務改善に向けたデジタル化支援等が進展したものの、システム開発案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比401百万円減）
- 前第3四半期連結累計期間におけるような受注損失処理がなかったこともあり、営業利益減少（前年同期比73百万円減）

④ フィナンシャル IT サービス事業



<当第3四半期連結累計期間>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により売上高減少（前年同期比 593 百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比 203 百万円減）

<2023 年 3 月期第 3 四半期累計期間>

- 新規サービス提供が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 84 百万円増）
- 前年同期に利益率の高い案件があったことから対前年では営業利益減少（前年同期比 355 百万円減）

<2022 年 3 月期第 3 四半期累計期間>

- パブリッククラウド上の環境構築等、新規サービス提供が進展した一方、既存領域に係る売上の減少等に伴い売上高減少（前年同期比 361 百万円減）
- 一部利益率の高い案件の前倒しや業務改善による売上総利益の向上に伴い、営業利益増加（前年同期比 159 百万円増）

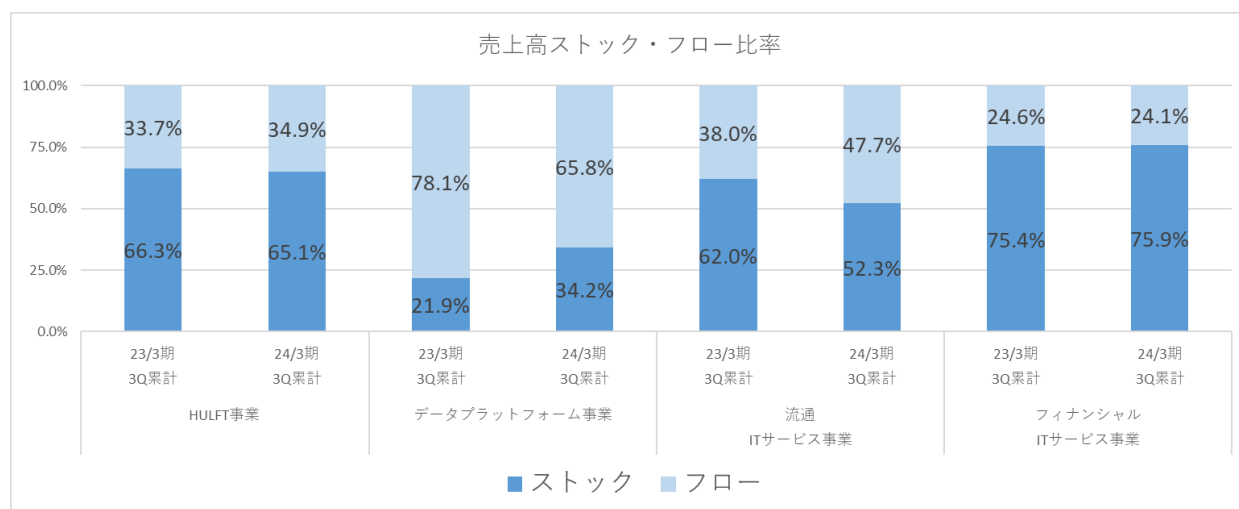
<2021 年 3 月期第 3 四半期累計期間>

- パブリッククラウド化へのインフラ環境構築等の新規サービス提供が進展したものの、既存領域におけるシステム運用案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比 37 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 23 百万円減）

4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社グループは、金融・流通小売業をはじめとする多種多様な業種向けシステム開発・運用等及びデータ連携サービスを提供しております。前連結会計年度にリリースした iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム）である「HULFT Square」を基盤として、サービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（当社製品・サービスに関するサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

5. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2023 年 10 月 1 日～2023 年 12 月 31 日）

「Enterprise 向け生成 AI 導入支援サービス」を提供開始

- 現在多くの企業において、生産性向上や新規アイデアの創出等に有効なツールとして生成 AI の利用が検討されています。一方、生成 AI の業務利用は、ルール整備やセキュリティ担保といった課題も多くあります。当社グループは、これら課題を解決し、生成 AI をメッセージングアプリ経由で利用可能にする「Enterprise 向け生成 AI 導入支援サービス」の提供を開始しました。

新 CM「データ連携、これシカない！」動画を公開

- 「データ連携、これシカない！」動画を WEB サイトで公開しました。この動画は「S.RIDE」や「DiDi」などの東京都内最大級タクシーサイネージメディア「THE TOKYO TAXI VISION GROWTH」にて、10 月 30 日～11 月 5 日及び 11 月 13 日～11 月 19 日の期間に配信されました。
 - ・ CM15 秒：<https://www.youtube.com/watch?v=6p-wRSmToWoico-external-link.svg>
 - ・ CM30 秒：<https://www.youtube.com/watch?v=5Jx2uJnRbHcico-external-link.svg>

「HULFT Square」、データ連携の内製化を支援するアプリケーションテンプレートを提供開始

- 「HULFT Square」を利用する企業向けにアプリケーションテンプレートの提供を開始いたしました。これは、当社グループが作成した「HULFT Square」内のスクリプトをユーザー企業様がダウンロードして、アプリケーションとして利用することができる「HULFT Square」に新たに追加された機能の一つです。今回第 1 弾として、電子契約システムの自動化の内製化を促進するためのアプリケーションテンプレートの提供を開始しました。

セゾン情報システムズとアスエネ、CO2 排出量算出に関わるデータを自動取得脱炭素経営を実現させる協業を開始

- アスエネ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：西和田 浩平）は、セゾン情報システムズの「HULFT Square」と CO2 排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「アスエネ」を連携し、脱炭素経営を加速させる CO2 排出量算出の自動化サービスを 2023 年 11 月 1 日（水）より、提供開始しました。

セゾン情報システムズの「HULFT Square」と Persefoni の「パーセフォニ」の連携により CO2 排出量算定の作業負荷を約 90%削減可能

- セゾン情報システムズと Persefoni Japan 合同会社（本社：米国アリゾナ州テンピ、CEO：ケンタロウ・カワモリ）は、脱炭素経営加速のため、CO2 排出量算定作業の自動化を検証テストし、「HULFT Square」と「パーセフォニ」連携で、作業負荷約 90%を削減可能と発表しました。

「HULFT DataCatalog」開發生産性が評価され、「Findy Team+ Award 2023」に選出

- 当社グループは、メタデータ管理ソフトウェア「HULFT DataCatalog」の開発部門の生産性が高いとして、ファインディ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 山田裕一郎）が主催する「Findy Team+ Award 2023」にて、「組織別部門（50 名未満）」表彰企業 8 社のうち 1 社に選出されました。

若手エンジニアの初挑戦で Google Cloud Partner Top Engineer 2024 を初の受賞

- 開発本部開発統括部プロダクト開発部に所属する澤木佑果が、Google Cloud パートナー企業所属のエンジニアの活動を表彰する「Google Cloud Partner Top Engineer 2024」に選出され、本日開催の Google Cloud Japan Partner Forum 2023 にて表彰されました。

「HULFT Square」、内部統制の国際認証「SOC2 Type1 保証報告書」を受領

- 「SOC2 Type1 保証報告書」は、米国公認会計士協会（AICPA）が定めた Trust サービス基準のうち「セキュリティ」に関わる内部統制のデザインを、外部監査人が第三者の立場で評価したものです。この取得により、「HULFT Square」のシステム上のセキュリティ要件が国際基準を満たしていることが認められました。

「HULFT Square」、契約業務におけるデータ連携を支援するアプリケーションテンプレート第 2 弾の提供を開始

- 第 1 弾に続き、「HULFT Square」と電子契約システム 2 社のクラウドサービスを連携するためのアプリケーションテンプレートを追加しました。今回提供を開始する電子契約用アプリケーションテンプレートは、GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社の「電子印鑑 GMO サイン」ならびにドキュサイン・ジャパン株式会社が提供する「DocuSign eSignature」用です。

ビジネスレポート 2024（上半期）発行のお知らせ

※外部サイトへリンクいたします。

「HULFT Square」、人材不足の解消に向けてデータ連携を支援するアプリケーションテンプレートの提供を開始

- 企業内の人材データは、様々なシステムに散在し、フォーマットがバラバラ、手入力による作業が発生するといった課題があります。「HULFT Square」は、タレントマネジメントシステムシステム連携を容易にするアプリケーションテンプレートの提供を開始し、これによりお客さまの人材データの連携を促進します。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

経営企画課 IR 担当

Tel：03-6370-2930

URL：<https://home.saison.co.jp/>